

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	日本語表現法基礎 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1単位	開講時期	1年次前期		
必修・選択の別	【ネットワークコース:必修科目】【ソフトウェアコース:必修科目】						
担当者	萬川正勝						
授業の到達目標 (シラバスから)	教材:名古屋大学日本語研究会GK7著『スキルアップ!日本語力』(東京書籍) ・日本語の特性を正しく理解できる。 ・敬語を理解し、正しく使い分けができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・原稿用紙、符号などの使い方の基礎を学習し、正確な表現ができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。						
日程と内容	第1回:講義概要 第2回:教科書「はじめに」1回目 第3回:教科書「はじめに」2回目 第4回:敬語1 1回目 第5回:敬語1 2回目 第6回:敬語2 1回目 第7回:敬語2 2回目 第8回:敬語3 1回目 第9回:敬語3 2回目 第10回:文法1 1回目 第11回:文法1 2回目 第12回:文法2 1回目 第13回:文法2 2回目 第14回:文法3 1回目 第15回:文法3 2回目・まとめ 定期試験 第16回:前期のまとめ						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	50%					
授業到達目標の達成度	ほとんどの項目で4段階、5段階が8割近く占めている点から、理解度はかなり高いと考える。課題は、理解したことを実際の文章表現で理解したことを生かすことができるかどうかである。						
反省点	○受講生が100人前後なので、小グループに分けて指導していたが、指導方法の工夫が必要がある。 ○学生たちの言語生活の実態を何らかの方法で把握する必要がある。 ○未受験者を含めた不合格者の学習意欲をどう高めていくかが大きな課題である。						
来年度の計画	テキストが例題一解説一練習と、とても構成がよくできているので、そのテキストを生かす、動機付けをもっと工夫したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	若い世代の人たちのあいだで使われている言葉づかいと結びつけ、適切な言葉づかいを指導したが、問1. 2. 3の項目で、4の評価が最も多かった。私の想定していた若者たちの言葉づかいと、実際の学生たちの言葉づかいとのあいだに少しずれがあったのではないかとと思われる。						
履修登録者数	75名	定期試験 受験者数	70名	合格者数	65名	合格率	93%